

農商工等連携事業計画の認定一覧(第25回：関東経済産業局)

※ ★は代表申請者

No.	事業名	事業概要	事業主体（法人番号） （中小企業側）	事業主体（法人番号） （農林漁業側）
1	川場産生乳100%のフレッシュチーズの開発と販売	酪農家である株式会社川田牧場の生産する、地元産の高品質な牛乳を活用し、株式会社田園プラザ川場がフレッシュチーズを開発する。開発するフレッシュチーズを作るために最適な生乳の品質基準の向上、フレッシュチーズに最適な生乳を搾乳するための飼育方法の確立、チーズのレシピ開発といった課題に連携しながら取り組んでいく。	★株式会社田園プラザ川場 (6070001023319) (群馬県)	株式会社川田牧場 (6070001034027) (群馬県)
2	防塵・防水パソコンと既存設備を活用したクラウド管理による施設園芸管理システムの開発、および栽培データ活用による生産性向上と苗木の付加価値向上	防塵防水パソコンである「エムテクションPC」と「PoEハブ」と既存設備を活用した、モニタリング・遠隔操作可能な施設園芸管理システムの展開を行う。また栽培データをもとに花卉・苗木の栽培マニュアルの確立し勤や経験に基づいた栽培を形式知とすることや、商品化率向上を図り、農家の生産性向上に繋げていく。	株式会社エム・コーポレーション (1030001081515) (埼玉県)	★農事組合法人安行グリーン (4030005012199) (埼玉県)
3	静岡県産「かぶせ深蒸し茶」と「出汁」を活用した商品の開発および販売	竹若の直営店「茶カフェ」で人気NO.1の対茶漬けに注目し、家庭でも味わえる茶出しの開発を行う。本事業では、特別な具材がなくとも家庭で美味しくいただけるよう、風味が良く、出汁に合う堀川園の「かぶせ深蒸し茶」と竹若の「出汁」を合わせ、出汁だけでもお茶だけでも表現できない味を商品化する。	★株式会社竹若 (4010001049536) (東京都)	堀川園 (静岡県)

<本件に関する問い合わせ先>

関東経済産業局産業部経営支援課 担当：新井、高橋、太田

電話：048-600-0332（直通）

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

川場産生乳100%のフレッシュチーズの開発と販売

群馬県利根郡川場村の酪農家が搾乳する生乳のみを原材料としたフレッシュチーズの開発と販路拡大を行う。

➤ 連携体

農林漁業者 株式会社川田牧場（法人番号6070001034027）（農業）

高品質なフレッシュチーズを作るために、生乳における乳たんぱく質、乳脂肪、生菌数、体細胞、無脂乳固形分に関する数値を向上させていく。

中小企業者 株式会社田園プラザ川場（法人番号6070001023319）（製造業）

川田牧場を中心とした川場村の酪農家から集乳した生乳をその日のうちにフレッシュチーズに加工する。

連携参加者 横坂牧場、石田牧場、関牧場、外山牧場、田中牧場

フレッシュチーズを作るための生乳を供給する。

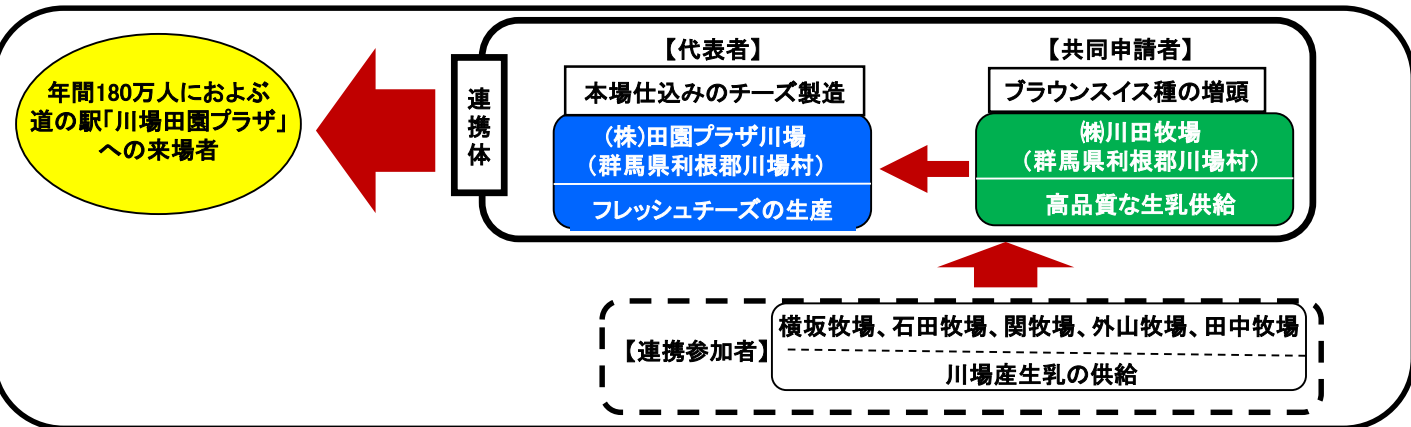
サポート機関等 群馬県商工会連合会、川場村商工会、中小機構 関東本部

➤ 連携の経緯

「川場村のブランド化」を目指す上で、川場村、村内酪農家、田園プラザ川場としても地元産生乳の差別化、ブランド化を行っていかねばならないことから、川場村で搾乳された生乳の新たな流通ルートを確認し、より付加価値の高い出来立てのフレッシュチーズ生産を行い、川場村の立地を最大限に活用した他地域ではできない事業に着手することとなった。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

開発するフレッシュチーズを作るために最適な生乳の品質基準の向上、フレッシュチーズに最適な生乳を搾乳するための飼育方法の確立、消費者やチーズを原材料として使用するシェフが使いたくなるおいしいチーズのレシピ開発という3つの課題に対して、ブラウンスイス種の乳牛の増頭や飼料の改良、道の駅の来場者の声を反映させたフレッシュチーズ作りに取り組んでいく。



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年で1,800万円の売上高増加、川場産生乳のブランド化

当事業を通じて、乳価向上による収入の増加、酪農家の労働意欲の向上、地域酪農業の活性化を実現する。

中小企業者 5年で4億1,500万円の売上高増加、収益性の改善

来場者に飽きさせない商品、メニューの提供による新規来場者とリピーターの増加により、収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社田園プラザ川場	所在地：群馬県利根郡川場村萩室385
TEL：0278-52-3711	FAX：0278-52-3713
E-mail：matsui@denenplaza.co.jp	ホームページ：https://www.denenplaza.co.jp/

⑤ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現

防塵・防水パソコンと既存設備を活用したクラウド管理による施設園芸管理システムの開発、および栽培データ活用による生産性向上と苗木の付加価値向上

防塵防水パソコンである「エムテクションPC」と「PoEハブ」と既存設備を活用した、モニタリング・遠隔操作可能な施設園芸管理システムの展開を行う。また栽培データをもとに花卉・苗木の栽培マニュアルの確立、商品化率向上を図る。

➤ **連携体**

農林漁業者

(農) 安行グリーン (法人番号4030005012199) (農業)

本システムを用いて牛久第1農場での実証実験による稼働検証、灌水指示・調整の検証に取り組む。また栽培ノウハウと栽培データをもとにした栽培マニュアルの策定による商品化率向上のほか、新品種の栽培に取り組んでいく。

中小企業者

(株)エム・コーポレーション(法人番号1030001081515)(製造業)

防塵防水パソコンである「エムテクションPC」と「PoEハブ」と既存設備を活用した、モニタリング・遠隔操作可能な施設園芸管理システムの開発・製造・販売を行っていく。

連携参加者

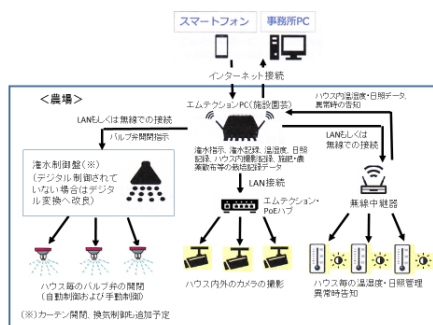
川口商工会議所(法人番号5030005012132)、埼玉県よろず支援拠点、(独)中小企業基盤整備機構関東本部

サポート機関等

➤ **連携の経緯**

＜(上)システムイメージ、(下)新品種イメージ＞

(農)安行グリーンは、施設園芸の生産性向上が課題であった。約300種類の花弁・苗木栽培を行う一方で、人員不足の中での勤や経験に基づいた栽培や気象環境変化への対応が課題であった。しかし既存の遠隔システムでは、パッケージ化されていることや、既存設備の活用が難しいこと、灌水の遠隔操作ができない、などの課題があった。(株)エム・コーポレーションは農業現場での「エムテクションPC」等の導入と具体的な活用のモデル化、農業現場に必要なカスタマイズ可能なシステム開発が課題であった。そこで埼玉県よろず支援拠点の引き合わせにより連携し、取り組むこととなった。



➤ **連携に当たっての課題や工夫等**

商品化にあたっては既存の灌水設備等を活用した遠隔操作システムの検証の他、灌水・日照等のモニタリング画面の策定と、栽培データを活用した栽培マニュアルの策定を両社協議により行う。また、本システムの販売にあたっては、両社による展示会への出展、実証実験を行った農場の見学会開催を行うほか、商品化率の検証についても連携して実施する。



➤ **連携による効果**

農林漁業者

5年で1,471万円の売上高増加、システム実証実験による商品化率向上、新品種栽培への展開

実証実験および栽培マニュアル策定による生産性向上と、新品種販売による売上の増加と収益性改善が期待される。

中小企業者

5年で3,200万円の売上高増加、収益性の改善

本システムの実証実験とシステム販売による、売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ **代表企業等の連絡先**

企業等名：農事組合法人安行グリーン 所在地：埼玉県川口市大字安行944
 TEL：048-297-9068 FAX：048-296-3340
 E-mail：takayuki19661217@yahoo.co.jp ホームページ：http://angyogreen.jp/

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

静岡県産「かぶせ深蒸し茶」と「出汁」を活用した商品の開発および販売

かぶせ深蒸し茶と出汁を活用して、茶だしとプリンの開発および販路拡大を行う。

連携体

農林漁業者

堀川園(農業)

かぶせ深蒸し茶の栽培、生産、加工、販売を行う。将来的に、本事業専用のかぶせ深蒸し茶の栽培を行う。

中小企業者

(株)竹若(飲食業) (4010001049536)

かぶせ深蒸し茶だし、プリンの製造、販売を行う。

連携参加者

西武信用金庫(2011205000146)

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構 関東本部

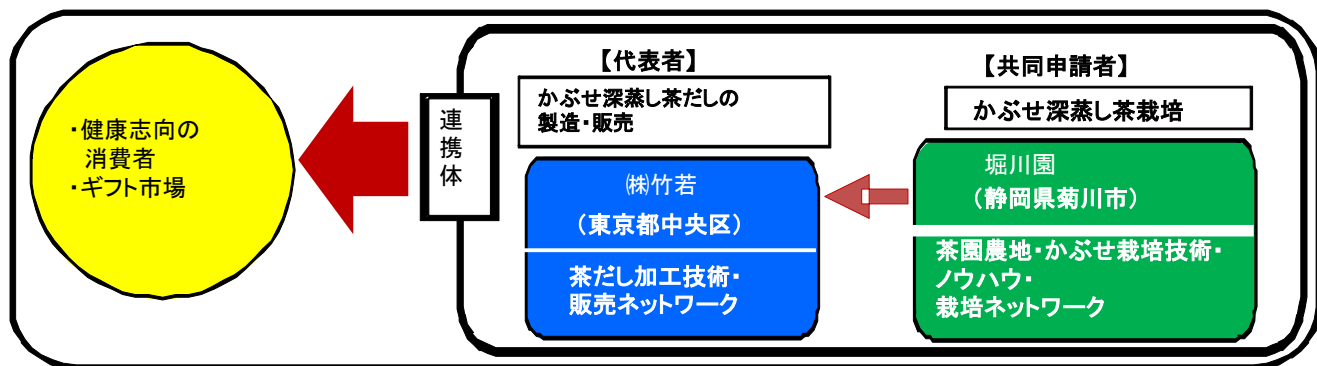
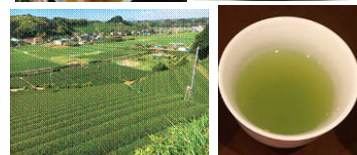
連携の経緯

竹若の直営店「茶カフェ」で人気NO.1の鯛茶漬けに注目し、家庭でも味わえる茶だしの開発を行う。本事業では、特別な具材がなくとも家庭で美味しくいただけるよう、風味が良く、出汁に合う堀川園の「かぶせ深蒸し茶」と竹若の「出汁」を合わせ、出汁だけでもお茶だけでも表現できない味を商品化する。



連携に当たっての課題や工夫等

堀川園では、本事業のために、かぶせ栽培を行い、茶出汁に最適な栽培期間を研究するとともに、出汁専用の茶葉を生産する。竹若は、かぶせ深蒸し茶の旨味成分を引き出すとともに、鮮度保持のための研究を行い、加工を担当する。その際、添加物や保存料を使用せず、素材の味が引き立つ商品となるよう開発を進めていく。



連携による効果

農林漁業者

5年で500万円超の売上高増加、新規需要の開拓。

農地の有効活用および安定供給により、売上の増加と収益性の安定化が期待される

中小企業者

5年で1億1,000万円超の売上高増加、収益性の改善。

新たな商品の展開を図ることにより、売上の増加と収益性の安定化が期待される

代表企業等の連絡先

企業等名： 株式会社竹若
TEL： 03-3541-4118
E-mail： masaru@takewaka.co.jp

所在地： 東京都中央区築地4-6-3
FAX： 03-3541-4131
ホームページ： <http://www.takewaka.co.jp>